

藤棚

42号



世田谷区深沢 4-10-1
東京学芸大附属世田谷小学校内
青山附属同窓会

振替 00130-159497
青山附属同窓会
発行人 森 昭彦
編集人 斉藤研一

同窓会の現況

幹事長 森 昭彦

今年も一一九名の新卒業生を迎え、五月十一日現在の名簿上の現存会員数は九、七七四名となりました。昨年に比べ八〇名の増加です。この間、ご逝去の連絡を受けた方が三九名となっております。名簿掲載総人数は一二、一四一名。このうち、住所の判明者は七、一二二名、判明率七三％となっています。住所変更の連絡は沢山いただいておりますが、一方で、転居などにより住所不明となる方も多く、判明率はなかなか向上しません。例えばこの「藤棚」は、同窓会の名簿データベース上に住所が登録されている会員には全員にお送りしていますが、毎回約

二〇〇通程度が転居先不明等で返送されてきます。返送分については、電話等により可能な限り調査して新住所の確認に努めておりますが、会員の皆様も住所変更がありましたら、必ず同窓会への連絡もお願い致します。住所の変更や会費の納入方法など同窓会への連絡については、郵便の他に、同窓会のホームページ左側にある、「名簿情報提供・会費」のページから届けることができます。あるいはeメールで直接同窓会事務局にご連絡下さい。URLやメールアドレスは本文末に掲載しました。

さて、同窓会の目的は、会則によれば、同窓の友誼をあつくり会員相互の親睦連絡を深めるとともに、学校の発展に協力することです。会報や同窓会名簿の発行、懇親会の開催はこの目的の前半に相当しますが、せっかく会費を払って頂いている同窓生へのサービスをどれほど充実できるか、会費を払っていない同窓生に、どれだけ振り向いてもらえるようにできるか、何とか新しいアイデアを絞り出すなければならぬと考えています。

DVD化などは、同窓生に向けた事業であると共に、未来の同窓生である在校生に対し、学校の歴史の一面面を伝える役割を果たしたと言えると思います。

附属小学校が一四〇周年を迎えるのもあと六年、そして一六年後には一五〇周年を迎えます。

このような節目々々に、多くの同窓生に同窓生であることを再確認してもらえよう事業をしたいものです。そのためには日頃のささやかな努力も必要です。今号から「藤棚」が読みやすくなったのではないのでしょうか。昨年A4二つ折りとなりましたが、今号はさらにカラー化を図りました。ご感想をお寄せ下さい。

これからの同窓会活動を引っ張っていく人材、同窓会の常任幹事を引き受けて下さる方を探しています。老若を問わず積極的に参加して新しいアイデアを出して下さる方はいないでしょうか。

同窓会ホームページURL
<http://www.u-gakugei.ac.jp/~dosohome.htm>
同窓会事務局メールアドレス
aoyama-dosokai@edinet.jp

創立135周年

—SINCE 1876—

東京学芸大学附属世田谷小学校は、今年度で創立135年を迎えます。式典のような記念行事は開催しませんが、在校生によるお祝いの集会を予定しています。ささやかながら心のこもった会にしたいと思っております。

新たな節目を迎える中、時々同窓生の方々が学校を訪れてくださいます。クラス会の集まりの前に立ち寄って、懐かしい校舎を一目見ようとグループでおよ越しになる方もいます。正門の前で記念撮影をしたり、おしゃべりに花を咲かせたりしてとても楽しそうです。中にはお孫さん連れの姿も。皆さん一瞬で小学生時代にタイムスリップしてしまうのでしょうか。卒業生がいつまでも仲がいいのはこの学校の伝統ですし、私たちにはちょっととした自慢です。

(副校長・藤田)

附属小学校の近況

副校長 藤田留三丸



常日頃から附属小学校に温かいご支援を頂き、ありがとうございます。附属小学校の近況をお知らせいたします。

【先生方の異動】

☆お送りした先生

▽八木美香先生

本校に4年間在職なさいまし

た。いつも元気で明るいキャラクターが子どもたちに人気でした。子ども一人ひとりに寄り添う学級経営の姿は、若手の先生方の範になっていました。専門は生活科と総合的学習。本校の総合学習の研究でも中心になって進めてくださいました。現在は目黒区立烏山小学校にご勤務です。ご活躍をお祈りしています。

▽大野桂先生

本校ご退職後、筑波大学附属小学校に赴任なさいました。現在1年生の担任です。本校には5年間の在職でした。算数教育がご専門でした。研究熱心で、全国各地の研究者や実践者と交

流しながら「よい算数の授業」を徹底して追究していました。その研究姿勢は附属教員のあるべき姿の一つを体現していたと言えます。

特技はけん玉。子どもたちの前で大きな体を小さくしながら妙技を披露していた姿が、懐かしく思い出されます。新天地でのご活躍を期待しています。

▽関祐一先生

道徳がご専門で、本校だけでなく東京都の道徳教育でも大活躍でした。メリハリのきいた生活指導、何事にも手をぬかず全力投球する姿勢には感心させられました。また、決めたことは最後までやり通すことの大切さを身をもって子どもたちに示していたように思います。現在、大田区立入新井第一小学校にご勤務です。本校在職は5年です。

▽堀井孝彦先生

東京学芸大学附属小金井小学校に配置換えです。本校には15年間在職、理科教育がご専

門でした。特に電気関係に強く、教材開発にもとても熱心に取り組まれました。子どもが大好きで、子どもからは「ホリセン」という愛称で慕われていました。

他に、音楽や写真、超短距離走など多趣味でも有名でした。きつと新しい職場でも、ホリセンはエネルギーに躍動していることだと思っています。

▽遠藤真紀子先生

優しく親しみやすいお人柄で子どもたちが安心して頼れる保健室の先生でした。慣れない小学生相手に奮闘の日々だったと思いますが、いつも笑顔で子どもに対応してくださいました。隣の東京学芸大学附属世田谷中学校に戻りましたが、これからも小学校のサポーターとして応援をさせていただきます。

▽関口美奈子先生

栄養教諭として毎日の給食の用意はもちろんのこと、食育にも力を注がれ、授業を通して子どもたちに食の意味や大切さを考えさせる機会をたくさん設けてくださいました。本校初めての栄養教諭として、十分にその力を発揮してくださったこと感謝いたします。定年での退職

ですが、これからもその豊富な経験をいかしてのご活躍を祈念しております。

☆お迎えした先生

▽栗田辰一朗先生

品川区立三木小学校より赴任されました。専門教科は算数です。若者らしく、いいものは何でも吸収しようという意気込みで、毎日体当たりで学校生活を送っています。子どもたちもそんな先生が大好きです。3年生の担任です。

▽齊藤和貴先生

東京学芸大学附属小金井中学校からの配置換え赴任です。ベテランとして、その豊富な教育経験を子どもたちの学習に反映させていただけると思います。サッカーが得意で、校庭で子どもたちと遊んでいる姿をよく見ます。2年生を担任し、専門は生活・総合です。

▽丸田文子先生

東京学芸大学附属世田谷中学校からの配置換えによる着任です。附属中学校の生徒のようすを理解したうえで今後の養護教諭の活動は、今までとは違うものになるのではないかと期待

しています。

▽朝蔭恵美子先生

東京学芸大学附属竹早小学校からの配置換えによる着任です。竹早小学校での経験をいかして新たな風を学校に吹き込んでいただけるものと思います。専門は音楽教育で、3年の担任及び学年主任を務めています。

▽居城勝彦先生

東京学芸大学附属竹早中学校からの配置換えによる着任です。5年間竹早中学校に勤務され、世小に戻られました。音楽教育が専門ですが、国際理解教育にも深く関わりがあり、各方面で活躍です。1年生の担任です。

▽鈴木千夏先生

栄養教諭として新たにお迎えしました。前任校は東京学芸大学附属特別支援学校です。本校教員の中で一番若い先生です。食を通じて子どもたちの健康を維持することに情熱を傾けています。ジャズダンスの名手でもあります。

今年も新しい力を得て、教職員合わせて約50名のスタッフで学校を運営しています。

附属魂「熱い思い」

元教諭 嶋 英治

附属とは、自分にとって何だったんだろう。

この原稿の依頼があったとき、ちょうど、この三月に退職という節目を迎えたこともあり、これを機会に附属時代を振り返ってみようと思い、依頼を引き受けることにしました。

私は大学を卒業してすぐに附属に入りました。以後十八年間、附属の生活にどっぷりつかった後、公立学校の経験が無いまま管理職として公立小学校へ出ました。そのギャップには大きいものがありました。それを乗り越えて頑張れたのは、附属での貴重な経験とそこで学んだ力のお陰と感謝しています。ふり返れば、私にとって附属は、教育の原点であり、ロマンであり、全てである。そう言えます。

附属での経験内容は実に多様で、他では経験できないことばかりだったという気がします。

思い付くままに挙げて、●百周年記念冊子『百年目の子どもたち』制作と本格的な写真の

撮影・現像・引き延ばし・焼き付け(DPE)作業 ●最先端

のAV情報蓄積検索提示システムとコンピュータLANシステムより成る「教育実践情報交換

システム」の構想・構成・導入・運用 ●ビデオ撮影・編集・作品制作 ●「〇の時間」の創設

と実践 ●4泊5日の6年臨海学校と遠泳 ●4泊5日の5年

臨海学校と遠泳 ●3泊4日の6年林間学校と燕岳登山 ●三

色学級対抗運動会 ●6年アンサンブル ●卒業演奏 ●1、

6年全員参加の入学式・卒業式、などが思い浮かびます。

こうした多様で充実した経験

は、その後の公立小学校管理職

の仕事に直接役立つものもたくさんありました。が、それ以上に

自分を支え大きな力となったのは、附属で経験した「熱い思い」

だったように思います。

「熱い思い」。それは、研究に

しろ行事にしろ、常にその内容を本質や根本から議論するところ

に現れていました。行事をや



喜びとやりがいでした。

子どものよりよい成長を願う熱い思い、子どもにとって

どうかという原点から掘り下げて行われる熱い議論。そこ

につながる多様な好奇心と問題意識。附属だから学べた貴

重な教師道であったと、つくづく思うのです。

公立小学校管理職としては、

教頭として十年、校長として七

年務めました。附属とは状況が

違いますので当然同じことはでき

ませんでした。が、内に秘めた

「熱い思い」は少しずつ伝わって

いたのではないかと思います。

校長として着任した練馬区立

光が丘第六小学校には、学級崩

壊の困難な状況がありました。

それを何とか乗り越えたら、今

度は五小との統合・廃校の流れ

が待ち受けていました。それぞ

れの学校には地域があり、「自分

の学校」という、それこそ熱い

思いがありましたから、学校を

廃校にすることは大変なことで

す。そこを乗り越えリードする

上で役立ったのが、附属で培わ

れた「熱い思い」と音楽と、コ

ンセプトを描いて具体化してい

く構想力だったと思います。

熱い思いには熱い思いで寄り

添っていく。こう決めて、音楽

を核に光六小への愛校心、一体

感を高める教育活動を計画しま

した。月曜日の全校朝会では、

毎週アコーディオンを弾きなが

ら歌い、講話をしました。地域

の音楽家を呼んでミニコンサ

ートを開きました。音楽集に力

を入れ、全日本音楽教育研究会

全国大会の会場として、音楽集

会を発表し、全国の先生方に子

供たちの歌声を褒めてもらいま

した。地域も保護者も応援して

くれました。音楽による一体感

が、子供たちや保護者・地域を

結び合わせ、統合新校への期待

感と夢を描かせてくれました。

そして、学校はこの三月に閉校

し、統合新校「光が丘夏の雲小

学校」が発足するとともに、私

も無事、校長職を終えることが

できたというわけです。

ふり返ると、附属への感謝の

気持ちでいっぱいになります。

育ててくださった諸先輩、子供

たちと保護者の皆様に厚くお礼

申し上げます。

(前・全日本音楽教育研究会小学

校部会長、東京都教職員研修セ

ンター教授)

同窓会の皆さん、はじめまして

今号では、昨年三月に附属小学校を卒業した、フレッシュな同窓会幹事の皆さんの声の特集しました。この文章を書いてもらったのは、昨年の八月。現在、中学二年生になった皆さんは、ますます充実した中学校生活を送っていることと思います。勉強も遊びも、がんばってくださいね！

新たな生活

平成二十一年卒 小倉実咲

私は今年、中学生になりました。新たな生活は、小学生の時とは大きく二つ違うところがありました。

一つ目は、各教科ごとに先生が違ふところでした。そのため教室の移動なども多く、慣れるまでは大変でした。しかし、だんだんとくり返していくうちに、慣れてきました。

二つ目は、一つ目と少し似ているのですが、自分で考え、行動するところでした。これは、中学校は担任の先生が帰りの時以外教室に居ないので、

つねに、自分で時間を気にしながら教室を移動したりしなければならぬのです。これは、学校だけではなく、普段の生活でもとても役に立つと思います。

この二つの事に慣れてきた今、私の中学校生活はとても充実しています。新しい友達もできました。また、クラスの友達だけにとどまらず、クラブ活動や委員会、そして運動会などの行事を通して、上級生ともたくさん知り合うことができました。これからも、いろいろなことに挑戦し、今よりさらに楽しい中学校生活を送りたいと思っています。

思い出のバットレスボール

平成二十一年卒 金城貴之

今年、新幹事になった元六年三組の金城貴之です。

ぼくが今、一番楽しかったと思う小学校の時の思い出は、五・六年生の体育でやった「バットレスボール」です。「バットレスボール」という名前は、自分達で決めた名前です。打者は、バットを使わずに手でボールを投げ

るので「バットレス」と呼びます。バットレスボールをやっている内に問題点がいくつか出てきました。例えば肩が強い人は遠くにボールを投げて、簡単に点を入れてしまえる事や、どうしてもバットを使いたいという意見が出てきた事などです。けれど、そのたびに話し合いをしました。みんなバットレスボールをおもしろくしたいという気持ちと同じなので、一生懸命話し合いが出来たのだと思います。ぼくは、バットレスボールの少し野球に似た仕組や、話し合いをしてどんどん楽しくしていく事が出来るところが好きでした。中学校でも、友達を多くつくり、生活を楽しみながら、みな

なで一つの目標を持って何かを成しとげ、「バットレスボール」以上の思い出を作っていきたいと思っています。

充実した委員会

平成二十一年卒 鈴木啓仁

ぼくは中学校に入学して、「また代表委員のような仕事をしたい」と思ったので、生活委員になりました。

主な仕事は、まず、出席簿の管理です。それぞれの授業の前に先生に渡して出欠の確認をしてもらわなければなりません。教室移動の多い中学校では、前の教室に置き忘れないよう注意する必要があります。

次に、生活委員はクラスのまとめ役でもあるので、クラスの話し合いの司会をします。

そして、会議です。委員会の時に行われるのですが、小学校の時やっていた代表委員会と比べて内容がとても本格的で、スケールが大きいです。例えば、「貸し傘制度」について話し合いました。「貸し傘制度」とは、夕立に遭った時などに、傘をもって

ることができる、という便利な制度です。この傘は以前生活委員が管理していましたが、その傘を使った人がきちんと返さないことが多く、管理するのが大変でした。それに、いつも学校に置き傘を一本置いておけば学校の傘を借りなくてもいいので、貸し傘制度は一度廃止になりました。しかし、「何日かそのような日が続いたら学校にいつも傘を置いておけず、ぬれて帰るようになってしまう」という意見も出ました。そこで、「傘立てに何か月間も置いてあり、だれも持つて帰らずゴミと化している傘を「あげ傘」とし、傘がなくて困っている生徒にあげてしまおう」ということになりました。そうすれば、その人もぬれて帰らずにすみ、傘立ても整頓できる、というわけです。

ぼくは生活委員になる時、「大変そうだ」と思っていました。しかし、実際にやってみるととても楽しく、やりがいがありました。これからも、生活委員の仕事がんばってやっていきながら、充実した中学校生活を過ごしていきたいと思います。

同じでいいところと

違っていいところ

平成二十一年卒 大池健太郎

名前も広さも場所も似ているのに「学芸大学附属世田谷小学校」と「学芸大学附属世田谷中学校」はずいぶんと違う。

小学校には普段着で登校していた。しかし中学校には「制服」がある。制服は夏用でも長ズボンなので、外で遊ぶのに適していない。実際、バスケットボールをしていたら破けてしまった。それに比べ小学校は楽だった。

それに場所とはなりのはずなのに、バスで登校する頃は小学校のとき使っていたバス停の二つ先のバス停で降りることになった。中学校に入学して一週間位の間はバス停を間違えそうになったこともある。それに、バスの中での態度も変わった。優先席に人がいたら、その人に配慮するように静かになったり、もちろんのこと、人がいなくても、つかれていても全く座っていない。それに小学校の後輩がうるさくしていたら注意している。(あたりまえ)

それに授業の様子がすごく小

学校の時から変わった。小テストが英語だと週2である。なので、必ずその日の内にその日の復習を毎日しないと、テストの点がとてつもないことになる。

さらに学期末テスト(期末)を三日もかけてやるのだ。小学校のフリ返りテスト(フリテ)では、やったのは国語、算数、理科、社会だけだったが、中学では国語、数学、社会、理科、英語、保健、技術をやる。小学校の頃はフリテの一週間前から勉強すれば間に合うが、期末だと二週間以上前から毎日勉強しないと大変だ。

それだけではなく木曜日が8時間もあるのである。部活がなく早く帰れたとしても6時にはなってしまう。

でも小学校から中学校に入ってから苦しいことばかりではなく、「部活」がある。部活とは部活動の略であり、自分のやりたいことに熱中できる。僕はテニス部に入っているが、とても楽しい。長く苦しい授業が終わっても、この時は元気になってやる気が出て、なぜか体力が回復する。だけど僕は身長が低いので、サーブが苦手だ。でも、練習し

てうまくなり、もっとテニスをやりたい。

テニスにも熱中しているが、今、テニスと同じぐらいはまっているものがある。マンガとゲームだ。マンガは小学五年生の頃から好きだが、今は、クラスで流行しているからか、『週間少年ジャンプ』が好きだ。ジャンプの話は長くなるので、ゲームの話に移す。今はまっているゲームは「ドラゴンクエスト」と「モンスターハンター」の二つだ。これもクラスというか、僕の友達の間でよくやっている。マンガは一人で読むもので、ゲームは一人でも何人でもできるから、僕はゲームのほうが好きだ。少し道を外したので元に戻すと、中学校に入ってから二カ月たったある日、小学校に行ってみた。少しなつかしい風景や後輩や先生を見た。

小学校と中学校は似ているようでほとんど違うが、それでいいのだ。違うからこそ意味があるのだと、比べてみて初めて気が付いた。

こんな私ですが…

平成二十一年卒 三國真生

はじめまして。青山附属同窓会新幹事の三國真生です。

今は、世田谷小学校のとなり世田谷中学校に通っています。

小学校の時には代表委員をやったりしました。他にも、毎日友達と外でドッジボールや鬼ごっこをして遊んでいましたが、今は図書室でマンガを読んだりして中学校生活を送っています。クラブ活動は、吹奏楽部のパーカッションをやっている、ドラムや木琴を叩いたりしています。難しいところもたくさんありますが、とてもやりがいがある、面白いし、楽しいです。

これから、青山附属同窓会幹

事で、わからないことがあったり、幹事会に出席できないこともあるかもしれませんが、どうぞよろしく願います。

ありがとうポップラ

数十年に渡って附属小学校を見守ってくれていた二本のポップラのうちの一本が、昨年十月、台風のために倒れてしまいました。残る一本も危険な状態だったので、この春お別れをしました。左の写真は残った一本を前に、教職員全員で撮ったものです。

(副校長・藤田)



思い出の「青山荘」に友達やご家族でステイしませんか。

母校のホームページを開いて、『青山荘』へと進むと、「千葉県南房総市千倉町にあります「青山荘」は、児童が移動教室や臨海学校に使用するほか、ご希望の方々に、ご利用いただけるようになっていきます。一般の旅館・ホテル・民宿とは違った施設で、ゆったりとお過ごしになるのも大変よいことです。新鮮な海の幸はもちろんのこと、磯釣りに、海辺の散策に、初春にはお花畑、また、周辺



多くの施設のご利用に、手軽にご利用くださることをお勧めします」と呼び掛けています。

「青山荘」は、昭和4年に東京青山師範学校附属小学校の保護者会が、地元の朝夷（あさい）小学校を移築したもので、中庭を廊下を取り囲む構造は、昭和49年に改築された現在の建物にも受け継がれ、平成15年の改修工事で、生活廃水の浄化や空調設備の整備などが行われ、より快適で綺麗な「青山荘」になりました。

本誌前号に藤田副校長が寄稿されたように、昨年4月末で管理人の荒井長治さんと奥様の文子さんが勇退され、現在は奥田義彦（おくだよしひこ）さんと、奥様の明美（あけみ）さんがお世話をしてくださっています。

懐かしい思い出の「青山荘」に、お友達やご家族でステイされてはいかがでしょうか。

以下、母校のホームページより利用方法をご紹介します。

あの頃と変わらないこと

平成八年卒 瓶子可南子

二〇一〇年もあつという間に秋になってしまいました。毎年、お花見・夏休み・年末年始になると、どこからともなく同窓会のお知らせがやってきます。大学を出て社会人になってもこんなに頻繁に集まる同窓生も珍しい。久しぶりに顔を会わせても、ランドセルを背負っていた頃と何も変わらないというのは嬉しいことです。

私は現在、フリーランスでデザイン・プログラマーのような仕事をしています。フリーですので人づてにお仕事をいただくわけですが、そのなかには附小の同窓生もおります。小学生のときは学校の宿題や休み時間の遊びのこと、誰と誰が喧嘩したとか手をつないでいたとかそんなことに盛り上がっていたのに、今は真剣に「ものづくり」を語り合う。話す内容がほんの少し変わっただけで、やはりあの頃と何も変わらないのかもしれません。

「ものづくり」といえば、クラス全員で家をつくる授業があり

ました。柱をたてる班、屋根をつくる班、壁をつくる班、それから池をつくる班、遊具のロープウェイをつくる班など、それぞれが興味のある得意な部分をつくり、みんなでひとつの家をつくるという長期の授業でした。そのとき私は、家のまわりの装飾を担当していた記憶があります。今はホームページをつくったりしているので、やはりあの頃と何も変わりません。

今「藤棚」を読んでいる皆様も、「あの頃と何も変わらないなあ」と思うことがたくさんあるのではないでしょうか。

昨年、当時の担任の先生を囲んでの集まりがありました。私たちがいたころの授業は（今もおそらくそうだと思いますが）先生が黒板の前で教科書を読むような授業ではなく、子どもたちが意見交換をする、子どもが主体となる授業でした。「発言が得意な子は発言すればいい。発言は苦手だけど意見のある子は、

その子のノートをコピーして配っていた」と聞き、私たちはそれぞれ得意なところを伸ばしていたんだと改めて実感しました。私も当時から絵を描くことやコンピュータを使うことが好きでしたので、今こうして仕事としているのも附属小学校のおかげだと思っています。

そんなわけで恩返し……と言えるほどではありませんが、今は青山附属同窓会常任幹事として月に一度小学校に行き事務作業をしています。同窓会ホームページをリニューアル・管理し、今回の「藤棚」カラー化もお手伝いさせて頂いております。まさかこの歳になって毎月小学校に通うとは思っていませんでしたが、少しでも皆様のお役に立っているならば幸いです。

季節を問わずあちらこちらで「附小の集い」があることでしよう。そのときはぜひ「あの頃と変わらないこと」を探してみて下さい。





お世話をいただく奥田義彦さんと明美さんご夫妻



中庭に面した客室



「青山荘」70年の歴史が掲示された食堂



青山荘 (せいざんそう／あおやまそう)

所在地：〒295-0011 千葉県南房総市千倉町朝夷^{あさい}2967

Tel.047-044-1004 Fax.047-044-1012

利用資格：会 員 (在校生とその家族)

準会員 (卒業生とその家族、会員同伴の親戚知人)

一 般 (会員、準会員以外の方 例：準会員同伴の親戚知人)

利用料金：平成20年4月より新料金適用

利用料金	会 員	準会員	一 般
宿泊費 (14時～翌10時)	2,400円	2,700円	3,000円
食事 (朝食)	400円	400円	400円
食事 (夕食)	400円	400円	400円
休憩 (10時～17時)	400円	500円	600円

- ① 小学生以上は大人料金をいただきます。
- ② 3歳～未就学児は、宿泊料・休憩料は半額、食事は400円。
- ③ 3歳未満は、寝具・食事なしの場合は無料とします。

食事：

- ① 朝・夕とも、ご飯・みそ汁・漬け物・のり・たまご程度です。
- ② おかずは近所のスーパーなどで買えます。
- ③ 昼食は用意できません。持ち込むか外で召し上がって下さい。

利用期間：年末年始とお盆、および学校行事での使用期間を除き年間を通して利用できます。

申し込み方法：

- ① インターネットで予約 (東京学芸大学附属世田谷小学校→青山荘→予約状況表示へと進む)
- ② 学校の藤田副校長先生へ電話 (03-5706-2131) で申し込む。

交通案内：

[電車の場合]

東京駅地下・京葉線ホームから特急さざなみ号の千倉行き、または館山行きに乗り、館山行きの場合は館山駅乗り換え千倉まで約12分。千倉駅からは徒歩20分(1,300m)またはタクシーで。

[高速バスの場合]

東京駅八重洲口のバス乗り場からJRバス「房総なのはな号」で。予約制：JRバス関東予約センター 03-3844-0497

[車利用の場合]

- ① 館山道・富津館山道を利用し富津ICから館山を経由する東京湾沿いのルートと、
- ② 館山道を利用して410号線を走る山間ルートがある。

[東京湾フェリーを利用]

久里浜から東京湾フェリーで金谷 (所要時間40分)。車なら金谷から国道127号線で館山を経由、徒歩の場合はJR浜金谷駅から電車で千倉へ。



JR千倉駅から1,300m 徒歩20分

平成21年度（平成21年4月1日～平成22年3月31日） 青山附属同窓会 会計報告

1、同窓会基金(単位：円)

収 入	金 額	支 出	金 額	残 高
前年度より繰越	3,276,183			
銀行利息 三菱UFJ信託銀行定期預金	13,001			
三菱UFJ信託銀行普通預金	11			
合 計	3,289,195		0	3,289,195

2、経常会計（単位：円）

収 入	金 額	支 出	金 額
前年度より繰越	9,738,882	藤棚印刷費	373,320
		名簿印刷費	0
新卒者入会金（119名）	1,190,000	新卒生名簿印刷	0
会費（ゆうちょ銀行振替口座）	141,000	回線使用料	63,190
		データー管理費	165,060
銀行利息：三井住友銀行 定期預金	3,493	事務手数料	104,400
三井住友銀行 普通預金	287	藤棚発送費	460,042
ゆうちょ銀行総合口座	1,408	名簿発送費	5,420
		通信費	24,060
寄付金	33,260	事務用品費	1,919
本年度収入合計	1,369,448	備品・修理費	0
		慶弔費	20,000
		交際費	8,380
		支払手数料	4,700
		交通費	500
		消耗品費	996
		会議費	62,838
		寄付金	0
		会費返金	50,000
		本年度支出計	1,344,825
		次年度へ繰越	9,763,505
合 計	11,108,330	合 計	11,108,330

3、資産の部(単位:円)

明 細	金 額
同窓会基金分	
三菱UFJ信託銀行定期預金	3,250,000
三菱UFJ信託銀行普通預金	39,195
合 計	3,289,195
経常会計分	
三井住友銀行 通知預金	1,500,000
三井住友銀行 定期預金	3,018,033
三井住友銀行 普通預金	1,473,020
ゆうちょ銀行 総合口座	3,475,326
ゆうちょ銀行 振替口座	201,360
ゆうちょ銀行 振替口座(懇親会)	90,140
現金	5,626
合 計	9,763,505
合 計(基金+経常会計)	13,052,700

会計: 野口 貞義、瓶子 可南子 **監事:** 清水 嘉男、吉原 重和

監査報告：帳簿類、会計報告書を監査の結果、適正であることを認めます。 監事：清水 嘉男 ⑨ 吉原 重和 ⑨

 本年度の同窓会役員

会長 平井 聖（昭和十七年）

幹事長 森 昭彦（三十一年）

會計監事 清水嘉男（二〇年）

吉原重和（三五年）

常任幹事 福西武子（二〇年）

野口貞義（一三三年）

小野聖穂（一九二九年）

平山昭男（三二年）

福田恒夫（三二年）

古川一郎（三二年）

幣原 廣（一九三七年）

飯田恵子（一九三九年）

木下智子（四〇年）

長岡寿昭（一四一年）

浅尾博之（四五五年）

朝倉壽峯（四六年）

福本彩子（四七年）

齐藤研一（五四年）

野口尚志（六三年）

松本洋典
(平成八年)

瓶子可南子（〃八年）

クラス名簿など会員情報がありましたら、ぜひ同窓会に御提供、御協力を御願います!!

同窓会からのお知らせ

来秋（平成二十三年十一月）、懇親会を開催する予定です。クラス会・同期会開催の機会としても、どうぞご利用ください。多数のご参加をお待ちしております。開催要項の詳細は、次号の「藤棚」に。

卜
報

平林宏美先生（一九六七年～
八三年在職）が、平成二十二年
一月に逝去されました。ご冥福
をお祈りいたします。

編集後記

今号は、紙面のカラー化とペ
ジ数の増加をしました。それに
あわせて、「藤棚」の題字背景の
デザインも変えてみました。よ
り良い「藤棚」の発行のために、
しばらく試行錯誤が続くかもし
れませんが、どうぞよろしくお
願いいたします。(編集者・斉藤)